

平成23年12月 9日

関係機関等各位

熊本大学生命資源研究・支援センター長

浦野 徹

[公印省略]

平成24年度実験動物関係高度技術研修（第1回生殖工学技術）
の開催について（通知）

このことについて、動物実験取扱者等の資質向上と教育・研究の発展を図るため、別紙要項により標記研修を実施致します。

つきましては、貴機関等から、受講希望者を下記のとおり6名程度を募集致しますので、平成24年2月3日（金）（必着）までに、別紙様式1及び2によりご推薦いただきますようよろしくお願い致します。

なお、本研修会については、全ての動物実験取扱者等が対象となりますので、広くご周知いただきますよう併せてお願いいたします。

記

研修期間：平成24年4月3日（火）～平成24年4月6日（金）

受講者数：6名程度

※別紙の実施要項、推薦書及び申込書については、熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究部門（CARD）ホームページにも掲載しておりますのでご参照ください。<http://card.medic.kumamoto-u.ac.jp/>

[本件連絡先]

〒860-0811 熊本市本荘2-2-1

熊本大学生命科学系事務ユニットセンター事務チーム(宮本)

TEL:096-373-6636 FAX:096-373-6638

E-Mail:iys-senter@jimu.kumamoto-u.ac.jp

平成24年度実験動物関係高度技術研修（第1回生殖工学技術）実施要項

1. 目的

現在、遺伝子の機能解析及びそれに関連した研究開発が、国家プロジェクトとして世界中で盛んに行われている。その中で重要な役割を果たしているのが遺伝子改変マウスであり、今後、その数は、加速的な勢いで増えることが予想され、最近、これらマウスの維持管理が、世界中の実験動物施設においてきわめて深刻な問題になっている。今後のライフサイエンスの進展にとって、バイオリソースとしての遺伝子改変マウスは、まさに知的基盤の根幹を成すものと言っても過言でなく、その作製、収集、保存、供給の管理システムが、ますます重要視されていることから、その周辺技術として生殖工学技術が必須のアイテムとなっている。

そこで、動物実験取扱者、特にマウスの実験取扱者に対し、生殖工学に関連した高度な知識と技術を習得させるとともに、生命科学及び生命倫理への理解を深めることにより、能力、資質の向上を図り、もって教育・研究の発展を図ることを目的とする。

2. 主催

国立大学法人熊本大学生命資源研究・支援センター

3. 会場・期間

- (1) 会場：生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設（新館）
- (2) 期間：平成24年4月3日（火）～平成24年4月6日（金）

4. 研修日程

別紙日程表のとおり

5. 研修対象者及び受講予定者数

- (1) 研修対象者：動物実験取扱者等で生殖工学技術経験者
- (2) 受講予定者数：6名程度

6. 申込み・決定

(1) 申込み

各機関等の長は、受講希望者を、別紙様式1及び2により平成24年2月3日（金）（必着）までに、国立大学法人熊本大学生命資源研究・支援センター長に推薦するものとする。

なお、受講希望者が2名以上の場合は推薦順位を付すこと。

※実施要項、推薦書及び申込書は、国立大学法人熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究部門（CARD）ホームページにも掲載しておりますのでご参照ください。<http://card.medic.kumamoto-u.ac.jp/>

(2) 決定

国立大学法人熊本大学生命資源研究・支援センター長は、推薦された者の中から研修生を決定し、各機関等の長に通知する。

7. 研修課題・研修内容

(1) 研修課題

「マウス胚・精子の凍結とそれに関連した知識及び技術の習得」

(2) 研修内容

「生殖工学」を主たるテーマとする。

- * (別紙「平成24年度実験動物関係高度技術研修(第1回生殖工学技術)日程表」参照のこと)

8. 経費

国立大学法人及び大学共同利用機関法人の研修生については研修料を無料とするが、研修旅費、滞在費等は研修生派遣先の負担とする。

また、その他の機関等の研修生については、研修料(72,000円)及び研修旅費、滞在費等は研修生派遣先の負担とする。

9. 修了証書

この研修の所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。

10. その他

本研修(生殖工学技術)は年2回程度開催する。

平成24年度実験動物関係高度技術研修(第1回生殖工学技術)日程表

第1日目:4月3日(火)

時間	内容等		担当	場所
8:45~9:00		受付	センター事務T	新館5階エレベーター前
9:00~9:05		センター長挨拶	浦野センター長	新館5階演習室(504)
9:05~9:15		お知らせ(連絡)	中潟教授	〃
9:20~10:20	実習	精子の凍結保存	〃	新館5階実習室(503)
10:20~12:00	実習 休憩	凍結精子の融解・FERTIUPを用いた体外受精 * 凍結精子 CARDの寄託供給・有償バンクについて(説明)	〃	〃
12:00~13:00	昼食・休憩			
13:00~13:40	実習	精子の冷蔵保存	中潟教授	新館5階実習室(503)
13:40~14:40	実習	マウスピース・キャピアリー作製と練習	〃	〃
14:40~15:10	実習	卵子の洗浄	〃	〃
15:10~15:20	休憩			
15:20~16:20	講義	遺伝子改変マウスの微生物学的品質管理	浦野教授	新館5階演習室(504)
16:20~17:00	実習	卵子の観察	中潟教授	新館5階実習室(503)
17:00		実習終了		

第2日目:4月4日(水)

時間	内容等		担当	場所
9:00~9:30		2細胞期胚のカウント(凍結精子由来)	中潟教授	新館5階実習室(503)
9:30~10:50	実習	FERTIUPを用いた体外受精 * 新鮮精子、冷蔵精子	〃	〃
10:50~11:00	休憩			
11:00~12:00	実習	FERTIUPを用いた体外受精 * 新鮮精子、冷蔵精子	中潟教授	新館5階実習室(503)
12:00~13:00	昼食・休憩			
13:00~14:00	実習	卵子の洗浄	中潟教授	新館5階実習室(503)
14:00~15:30	講義	発生工学	山村教授	新館5階演習室(504)
15:30~15:40	休憩			
15:40~16:40	実習	精管結紮雄の作製	中潟教授	新館5階実習室(503)
16:40~17:00	実習	卵子の洗浄と観察	〃	〃
17:00		実習終了		

第3日目:4月5日(木)

時間	内容等		担当	場所
9:00~9:30	実習	2細胞期胚のカウント(新鮮精子および冷蔵精子湯害)	中潟教授	新館5階実習室(503)
9:30~10:40	実習	胚の凍結保存	〃	〃
10:40~10:50	休憩			
10:50~12:00	実習	胚の融解	中潟教授	新館5階実習室(503)
12:00~13:00	昼食・休憩			
13:00~13:30	実習	胚の冷蔵保存	中潟教授	新館5階実習室(503)
13:30~15:00	実習	卵管灌流	〃	〃
15:00~15:10	休憩			
15:10~16:10		何でも質問コーナー	中潟教授	新館5階実習室(503)
16:10~17:30	デモンストレーション	・前核卵へのDNAのインジェクション ・胚盤胞(桑実胚)へのES細胞のインジェクション ・ES細胞と8細胞期胚との共培養	竹田助教 荒木准教授	〃
17:30		実習修了		
18:30~		懇親会		

第4日目:4月6日(金)

時間	内容等		担当	場所
9:00~10:00	実習	冷蔵胚の回収	中潟教授	新館5階実習室(503)
10:00~12:00	実習	卵管内胚移植	〃	〃
12:00~13:00	昼食・休憩			
13:00~14:30	実習	子宮内胚移植	中潟教授	新館5階実習室(503)
14:30~14:40	休憩			
14:40~15:50	実習	帝王切開	中潟教授	新館5階実習室(503)
15:50~16:10		研修成果の講評及びまとめ	〃	〃
16:10		解散		

【講師】

- ・浦野 徹 (生命資源研究・支援センター長・病態遺伝分野 教授)
- ・山村 研一 (生命資源研究・支援センター疾患モデル分野 教授)
- ・中潟 直己 (〃 資源開発分野 教授)
- ・荒木 喜美 (〃 疾患モデル分野 准教授)
- ・竹田 直樹 (〃 技術開発分野 助教)
- ・竹尾 透 (〃 資源開発分野 助教)